

長崎市教育大綱の策定について

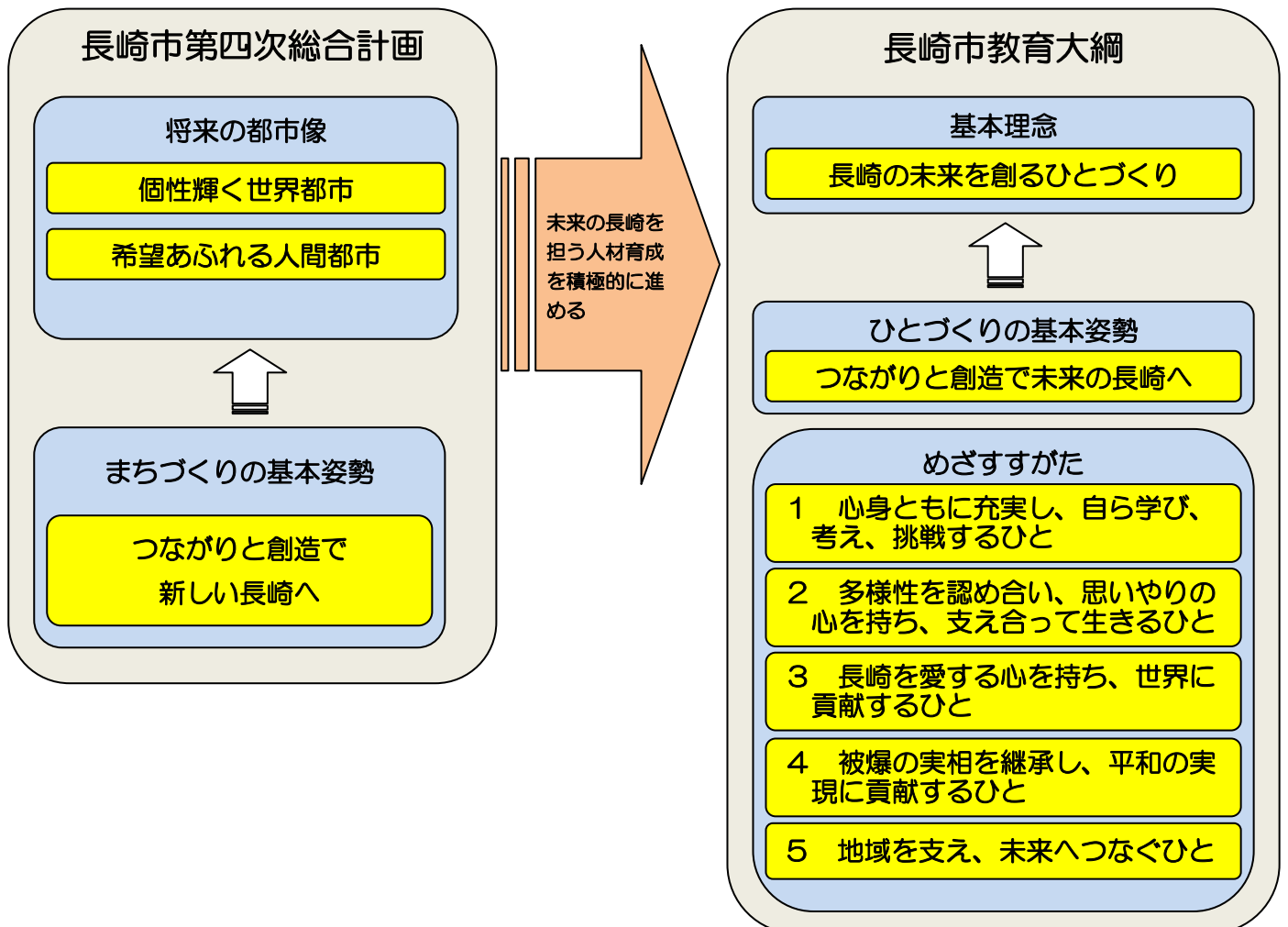
1 教育大綱とは

地方公共団体における教育の目標や施策の根本的な方針であり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、地方自治体の長にその策定が義務付けられた。

2 長崎市教育大綱の考え方

長崎市のまちづくりの指針である「長崎市第四次総合計画」に基づき、「個性輝く世界都市」「希望あふれる人間都市」という将来の都市像の実現をめざしており、未来の長崎を担う人材育成を積極的に進めるにあたり、長崎市における教育に関する方向性を明確にすることを目的として「長崎市教育大綱」を策定する。

長崎市第四次総合計画と長崎市教育大綱の関係



長崎市教育大綱の骨子

基本理念

『長崎の未来を創るひとづくり』

長崎のまちは、それぞれの時代において、「ひと」が創り、受け継いできたまちであり、これからも、長崎が希望に満ちた魅力あるまち、日本や世界に貢献するまちであり続けるためには、次の世代にしっかりと引き継ぐことができる「ひとづくり」が重要となることから、基本理念を「長崎の未来を創るひとづくり」とする。

ひとづくりの基本姿勢

『つながりと創造で未来の長崎へ』

ひとづくりに関わる主体同士が、あらゆる分野においてつながり、つながることで創造される新たな力や発想を活用するなど、長崎のまち全体が一体となって人材育成に取り組むことで、長崎のまちを未来へ引き継ぐことを基本姿勢とする。

めざすすがた

基本理念における「長崎の未来を創るひと」を、「めざすすがた」として示す。

1 心身ともに充実し、自ら学び、考え、挑戦するひと

これからの社会を生きぬくために必要な「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく身に付け、社会的に自立するとともに、幼児期から生涯を通じ、自分の考えをしっかりと持ち、夢や希望に向かって挑戦する力や、自分で課題を見つけ、解決する力を身に付ける。

2 多様性を認め合い、思いやりの心を持ち、支え合って生きるひと

ひとは誰もがかけがえのない存在であり、様々な個性、生き方、考え方をを持った人と関わる機会が数多くあることから、命の大切さを実感するとともに、一人ひとりがお互いを認め合い、信頼関係を築くことにより、共に支え合って生きていく。

3 長崎を愛する心を持ち、世界に貢献するひと

郷土長崎の自然や歴史などへの関心を高め、愛する心を育み、継承するとともに、日本や他国の歴史や文化についての理解も深め、長崎が持つ世界的な価値を発信し、長崎にしかできない役割を果たすことにより、日本はもとより、世界に貢献する。

4 被爆の実相を継承し、平和の実現に貢献するひと

被爆の実相を正しく理解し、次の世代に確実に継承するとともに、世界中の人々の考え方を理解しながら、平和とは何かを考え、対話することなどにより、身近なところから信頼を生み出す。

5 地域を支え、未来へつなぐひと

地域で育まれた一人ひとりが、様々な世代とふれあい、地域との関わりを大切にして、自ら地域を支えるとともに、次の世代を担うひとづくりに努める。

長崎市教育大綱の期間

長崎市第四次総合計画（後期基本計画）の計画期間との整合性を図るため、平成28年度から平成32年度までとする。